

『信州秘密の酒 頒布会 2025』

スタートにあたっての大切なご案内

本年も「信州秘密の酒 頒布会 2025」がスタートします。

巷では、サブスクリプション（サブスク）なる「定額制」と訳される文言がメディア等で更に活発に取り上げられていますが、この「信州秘密の酒 頒布会」は

『お客様に 定額で 安心して 美味しい（ご予約でしかお口に出来ない）

厳選した 信州地酒を 定期的に お届けさせていただくこと』 が、大きなテーマでございます。

出品いただく酒蔵さんや当店にとりましても、「**見込生産の日本酒を計画生産できる企画**」という意味でどれほどの「支え」となっているかと、例え様の無い感謝の気持ちでいっぱいです！

それではこれから 8 カ月間の長い間大変お世話になりますが、何卒宜しくお願いを申し上げます。

それでは「信州秘密の酒 頒布会 2025」から大切なご案内をお伝えします。

『信州秘密の酒 頒布会 2025 の出品酒は、参加蔵元のご理解をいただき、「純米」・「純米吟醸」・「純米大吟醸」のような『特定名称表示』と、「日本酒度・酸度」などと云った『任意記載事項』を一切表記しない事としました！（2020 年～）』

（法律上記載しなければいけない事項は表記してあります）

理由は、「表記された内容から先入観でお酒を既に評価してしまいがちな風潮」から脱却し、味わいそのもので評価していただきたいという、思いの現れで、この件は業界的には画期的な企画となります！

[次頁へ](#)

この決断に至った背景には

「地酒には作品名（商品名）がない」という実態があることです。

一般的には「メーカー名・銘柄・作品名」となります。

（日本酒に例えると「メーカー名（〇〇酒造）・銘柄（〇〇正宗）・作品名」
となる訳です）

しかしこの「作品名」の部分には、「純米吟醸ほか」の特定名称に加え、
「無濾過生原酒」のような（上槽後の）処理方法が、あたかも作品の表現の
様に加えられ、もはや消費者には解読不明な日本語が並ぶ結果となり、
その作品が美味しくても、人に勧めたり、次への購買行動に繋がるかとい
うと、逆に足枷（あしかせ）にもなっていると感じている昨今です。

日本酒をシンプルに『美味しい！』って思ってくださった方への次への
アクションに、酒造メーカーさんの「作品名」が入るだけで、どれほど
他人に伝え易いか？手に取り易いか！！

これを今回の大切なメッセージとさせていただきます。

ひとつの酒蔵がこう言ったアクションをするのはあるかとは思いますが
シーズンを通じてご参加いただく全ての酒蔵さんに、趣旨をご理解いた
だき、「形」となるのは、恐らく日本初かと思います。

但し、今回の頒布会の出品酒全てに「作品名」が入るとは限りませんので
ご了承ください。（市販酒では、実際に増えてきています）

そこで今年の頒布会の作品内容に関しまして、お手元に届いてから、
どうしてもその中身（精米歩合・酵母等・日本酒度・酸度など）が気に
なられるお客様は、お手数でも当店へ直接メールにてお問い合わせください。
非公開部分以外の情報をお伝えします。（希望者には「スペック表」をお送りします）
※酒蔵への直接の問い合わせはご遠慮ください。

それでは「信州秘密の酒 頒布会 2025」を最後までお楽しみください！